

防災・安全ニュース

VOL. 40

危機管理課

2026年8月号

電話：65-1282

先月28日に令和8年熊本地震が発生しました。被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたします。

では、今月号もよろしくお願いいたします。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・地震・津波への備え
- ・地震・津波から身を守るために
- ・道路標示の意味

地震・津波への備え

一昨年(2024年)の8月8日には、16:43頃に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、「南海トラフ地震(巨大地震注意)」が初めて発表されました。発表から1週間の間は、「特別な備え」と「日頃からの地震への備え」の再確認が呼びかけられました。

【特別な備え】

- ・すぐに逃げられる態勢の維持
- ・非常持ち出し品の常時携帯 など

【日頃からの地震への備え】

- ・避難場所、避難経路の確認
- ・ご家族との連絡手段の確認
- ・家具等の固定
- ・非常食などの備蓄の確認 など

それから2年が経過しますが、日頃の備えはできていますでしょうか? できていない方は、今日から是非、備えを始めていただきたいと思います。また、新居浜市では家具等の固定と感震ブレーカー設置の補助を行っていますのでご活用ください。

補助制度のご案内(上段=家具等固定、下段=感震ブレーカー設置)

→ <https://www.city.niihama.lg.jp/site/bousai/kagukoteikasoku.html>

→ <https://www.city.niihama.lg.jp/site/bousai/kansin.html>

地震・津波から身を守るために

冒頭にも述べましたが、先月は令和8年熊本地震が発生しました。風水害とは違って地震は突然やってきますので、身構える時間がない、または短いです。そこで、強い揺れが予想される地域に緊急地震速報が発表されますが、日頃から具体的な行動を考えていないと、とっさに身を守る行動をとることが難しいです。あるアンケートによると実際にテレビを見ているときに緊急地震速報のチャイムが流れても、テレビを見続けていたという人がほとんどだそうです。

津波についても同様に、事前に具体的な逃げる場所などを考えていなければ、逃げ遅れにつながる可能性があります。是非、それらの知識について、次のURLでご確認ください。



「緊急地震速報」と「津波警報」等 いざその時に身を守るために！
(政府広報オンライン)

→ <https://www.gov-online.go.jp/article/201410/entry-10414.html>

道路標示の意味

道路標示は、道路の交通に関する規制または指示を表示する標示で、ペイントや石・鋳などによって線、記号、文字が書かれたものです。そのうち、センターラインの2つの例を下図に示しますが、この意味の違いが説明できるでしょうか？



簡単に説明すると、左の図の白線は「右側にはみ出しての通行禁止（遅い自転車を追い越す場合や駐停車している車両を避ける際もはみ出し不可）」で、右の図の黄線は「追い越しのためのはみ出し禁止（障害物や駐停車車両を避ける際のはみ出し可）」です。

中央線と車線境界線は、「白色の実線」「白色の破線」「黄色の実線」の3種類になりますが、同じ色や形状でも中央線と車両境界線の場合では意味が多少異なりますので、注意しましょう。

道路標示の意味についての記憶に自信がない方は、次のURLで確認してみてください。

道路標示について～路面に引かれたラインの意味～（ソニー損保 HP）

→ <https://www.sonysonpo.co.jp/auto/guide/agde904.html>

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

今回は、地震の話ばかりですが、1995年（平成7年）1月17日は、阪神・淡路大震災が発生した日です。当時、私の親戚が震度7を記録した神戸市長田区と須磨区に数世帯住んでいましたが、全て家屋は倒壊し、うち2世帯の人は倒壊した家屋の下敷きになりました。でも、すぐに近所の方々が助け出してくださったそうです。大きな地震などの災害では「公助」の手は行き届きません。やはり、近所での助け合い「近助（共助）」が大切であることを教えてくれる事例だと思います。

（N.O）